

第 19 期 (令和 2 年度)

事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

社会福祉法人 炉暖会

令和2年度 事業報告

1) 特別養護老人ホーム 炉暖の郷

【実績】

稼働率：96.6% 入退所者数：入所 28名、退所 30名 平均介護度：3.69

現在入所者の男女比率：男性 2割女性 8割 予算達成・未達の原因

事業実績は当初予算対比-5,772千円の前年度対比は+8,575千円でした。

年間稼働率は96.6%となりました。

年度の初めより従来型はサービス提供強化加算をⅠロからⅠイへ変更して算定しています。

入退所状況では年間入所者数28名、退所者数30名となっております。退所者を見ると施設でご逝去されたご利用者様が20名、医療機関でご逝去されたご利用者様が3名、医療行為増加で医療機関から帰所できなかったご利用者様が6名、その他が1名となっております。入院後施設へ帰所できないケースが増えています。

男女比率では男性2割、女性8割と圧倒的に女性が多いですが年々男性の割合も増えています。年齢別ですと最高齢は101歳、最年少は49歳で平均年齢は84.6歳となっておりますが年代別で比較すると90歳代が37名と一番多くなっています。

入所要件が原則要介護3以上の為、平均介護度は3.69となっております。平均介護度は年々高くなっています。それに伴い退所者数や入院者数の増加及び入院期間の長期化がみられ空床の原因にもなっています。それに加え入所希望待機者の減少や金銭面から個室ではなく多床室ご希望の方が増えており入所調整が困難となっております。今後も安定した入所希望者の確保とスムーズな入所調整が課題となっております。

【活動】

主な行事等

新型コロナウイルス感染症の為、外出、施設単位の行事はすべて中止。その代替えとして各フロアごとのイベントを企画実施してまいりました。

また二か月ごとに季節感あふれる(新茶まつり、紅葉まつり等)ミニイベントを、感染予防を視野に置き安全、安心を心掛け企画し楽しんでいただくことができました。

職員研修等(事業計画目標に対しての達成等の可否も含む)

数々の研修項目より職員自身、興味深い研修を希望するも、新型コロナウイルスの影響で中止多く、その中でリモート研修を施設で契約していただいたおかげで、安心して、また気軽に受講できたことをありがたく思いました。また「身体拘束0」に対しての講習日を選択できるよう、日にちに余裕を持って受けやすいよう対応できて多くの職員が受講することができました。中止になり残念な部分とリモートと新しい受講の仕方がとれたことで、ほぼ達成できたと思われる。

令和2年度 事業報告

2) 短期入所 炉暖の郷

【実績】

稼働率 65%

利用者数の増減

令和2年度 994人 令和元年度 874人 利用者数増 120人

平均介護度 2.53

予算達成・未達の原因

新型コロナウイルス感染症の為、暫く利用をお休みされる方、ご家族様による県外の往来にて休まれる方もいました。又、施設入所の為、ロングショート利用の中止も多かったが、独居のため入院等で自宅での生活が困難になり緊急入所される方が多かった事、前年度より予算設定が低めだった事もありプラスの収支になったと思われる。

【活動】

主な行事等

年間行事計画にて外出行事を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の為、外出行事は全て行う事が出来なかった。

室内のみの行事にて運動会・クリスマス会・節分を感染対策を行い実施しました。

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

年間計画の元、フロア会議内にて毎月行う。

特にコロナ感染対策について行い、居室清掃等注意促し徹底した。

令和2年度 事業報告

3) デイサービスセンター 炉暖の郷

【実績】

稼働率 64.3%

利用者数の増減 新規 15名 利用中止 22名

平均介護度 2.39

予算達成・未達の原因

新型コロナウイルスが感染拡大のため、暫く利用を控える方、ご家族様による県外の往来にて休まれる方がいたことが影響し、数字が伸びなかった。

加えて、利用回数が多くてご逝去された方が、例年より多数いたのも要因の一つ。

【活動】

主な行事等

年間行事計画にて季節に合った様々な行事を計画していたが、新型コロナウイルスが感染拡大したため、規模を縮小せざるを得なかった。

小規模ながら夏祭り、運動会、クリスマス会、節分を感染対策をしながら実施しました。

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

月一回のデイ会議の中で内部研修として、感染症対策等を行った。

事業計画の目標に対しては、ほぼ達成できた。が新型コロナウイルスの影響が大きく、色々なことを修正せざるを得なかった。

令和2年度 事業報告

4) ホームヘルプセンター 炉暖の郷

【実績】

稼働率 50%

利用者数の増減

令和2年 438人 令和元年 442人 利用者数減 4人

平均介護度 1.4

予算達成・未達の原因

・予算達成のため令和2年4月より特定事業所加算Ⅱを算定したが、昨年1年間ご逝去された方が多い状況であり、主に支援回数が多い方、要介護1～4の方であった。新規は要支援の方が多く、特定事業所加算の算定ができないため、予算を達成することが出来なかった。

【活動】

主な行事等 ・かなおか地域つながる会議への参加

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

事業計画目標

・職員の研修について。年間研修計画に基づき実施。さらに個別の研修計画を作成し実施した。

・自立支援について。自分らしい生活ができるような支援を行うとした。どのヘルパーが支援に入っても安心して支援が受けられるように情報共有に努め、自立支援を踏まえた支援を心掛けた。

・コロナ感染予防対策について研修を行い、日々注意を促し徹底した。

令和2年度 事業報告

5) 居宅介護支援事業 炉暖の郷

【実績】

事業実績は予算 13,272 千円に対し、実績 14,440 千円で 1,168 千円のプラスでした。事業体制としては、令和元年度ケアマネジャー4人体制とし特定事業所加算Ⅱを5月より算定。件数も平均 112 件を保持し安定していましたが、令和2年度はケアマネジャー3人体制とし特定事業所加算Ⅲを4月より算定しています。利用者数は4人体制の令和元年度が 1345 人（予防 479 人・介護 866 人）で3人体制の令和2年度が 1202 人（予防 338 人・介護 864 人）となり 143 人の利用者数減となりました。令和2年度利用者数月平均は約 112 人、ケアマネジャー一人当たり 37 人となり、年間を通し安定した利用者件数でした。

【活動】

特定事業所加算Ⅲの算定要件として、地域の居宅介護支援事業所との事例検討会の開催、介護支援専門員実務者研修における科目「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」等に協力又は協力体制を確保していることが条件となっています。しかし、新型コロナウイルス感染拡大を受け介護支援専門員実務者研修における科目「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」は令和2年度は受け入れを中止しました。地域の居宅介護支援事業所との事例検討会は令和3年3月11日会場を炉暖の郷にて6事業所が参加し開催することができました。

職員研修については特定事業所加算Ⅲの算定事業所は前年度の12月に個別計画を作成し実施することになっています。計画はPDCAサイクルで実施しています。

また、地域貢献として炉暖の郷前の公道のゴミ拾いを2回実施。美化活動を行いました。

令和2年度 事業報告

6) かなおか地域包括支援センター

【実績】

稼働率

利用者数の増減

平均介護度

予算達成・未達の原因

【活動】

主な行事等

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

令和2年度 事業報告

6) かなおか地域包括支援センター

【実績】

稼働率 請求総数 2732件（新規54件）

委託：2020件（34件） 直：712件（18件）

利用者数の増減 新規相談受付 273件 昨年並

平均介護度 要支援1または2 事業対象者 のみ

予算達成・未達の原因

- ・今年度は、初期の準備に費用がかかり委託費用を大きく上回ってしまった
- ・介護予防教室・介護教室・地域ケア会議・認知症初期集中については、それぞれの委託費用の中で運営できた
- ・介護予防支援事業所の収支については、包括直担当ケースは72件で、うち三職種は47件。介護予防支援事業所管理者の直担当は25件と思うように件数が増えなかった。三職種は直ケースをなるべく持たないよう指導を受けているが今までの今までの継続した担当を変更せず、新規で介護予防事業所管理者の直担当ケースを40件に伸ばしていきたい

【活動】

主な行事等

総合相談事業：新規相談受付窓口機能

介護予防ケアマネジメント事業：介護予防ケアマネジメント

フレイル事業（フレイルチェック等）

介護予防事業（派遣型介護予防教室）

介護教室（介護者の会）

継続的・包括的ケアマネジメント：地域ケア会議・圏域ケアマネ支援

地域つながる会議 ウェブ会議・研修

権利擁護：虐待・成年後見・消費者被害への対応と予防啓発

認知症関連事業：(認知症地域支援推進員活動)

認知症サポーター養成講座（金中・明治茶館・文化村）

チームオレンジかなおか持ち寄り会議

～認知症サポーターとの連携と運営～

認知症カフェ（café さくらんぼ）

認知症初期支援集中チーム

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

- ・コロナ感染予防ウェブ研修
- ・所内会議の実施
 - 困難事例 ケースカンファレンス
 - 事業計画の半期ごとの評価
 - 予定業務の内容・進行の確認と役割分担
- ・圏域に向けたウェブ研修
- ・在宅ワークの実施

令和 2 年 度

社会福祉法人 炉暖会
事業経過

令和2年度 社会福祉法人炉暖会 事業報告

特別養護老人ホーム炉暖の郷 かなおか地域包括支援センター

	法人運営	施設運営	外部活動	かなおか包括
4月		職員大会(中止) 家族会(延期)	ヤクルト贈呈式	つながる会議 金岡地区自治会長会議挨拶
5月	法人監事監査			
6月	法人理事会 法人評議員会		六施設施設長研修 静岡県老協総会	地域ケア圏域会議
7月	機関誌発行	職員がウイング大会(中止)		
8月		優先入所判定委員会 夏祭り(中止) 慰霊祭(中止)	六施設施設長研修(中止)	地域ケア圏域会議
9月		施設敬老会(中止) 職員旅行(中止)	高齢者福祉研究大会(中止)	認知症サポーター養成講座 (金岡中学校)
10月	臨時理事会 評議員会 機関誌発行	もみじ祭り 運動会 インフルエンザ予防接種	六施設施設長研修	認知症サポーター養成講座
11月	山本会計事務所 監査	防災訓練 文化祭 家族会	沼津市水道検査	
12月	法人理事会 法人評議員会	クリスマス会 餅つき(中止) 大掃除	六施設施設長研修	オレンジ活動リーダー会議 包括P.K.会議 金岡壽大学講演
1月	法人理事会(書面決議) 機関誌発行	職員新年会(中止)		オレンジ活動リーダー会議 包括支援センター監査
2月		節分祭	六施設施設長研修 (リモート)	
3月	新卒者入職式 法人理事会 法人評議員会		県老協協定例総会(書面)	つながる会議(延期)

※ 施設運営活動として、他に各フロア毎月のお楽しみ食、お誕生会メニュー等の行事食の提供。理美容の実施。外部ボランティア訪問・音楽療法は新型コロナウイルス対策のため実施しなかった。

※ 職員研修は新型コロナウイルスの影響により外部研修は10月に行われた『新型コロナウイルス対策講座』に特養職員2名、訪問職員1名出席のみであった。以外は各所属団体主催のweb研修や『お茶の水ケアサービス学院』のフォローアップ研修を契約し、接遇研修・緊急時の対応・感染症について・虐待防止につながる接遇を深め浸透させるには・口腔ケアについて・異常の早期発見他の研修を会議室で実施し、職員は関係する研修に積極的に参加した。